

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 6 月 18 日 (2020.6.18)

【公表番号】特表 2019-501726 (P2019-501726A)

【公表日】平成 31 年 1 月 24 日 (2019.1.24)

【年通号数】公開・登録公報 2019-003

【出願番号】特願 2018-535882 (P2018-535882)

【国際特許分類】

B 2 6 B 19/20 (2006.01)

【F I】

B 2 6 B 19/20

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 4 月 28 日 (2020.4.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

毛切断器具用の調整可能なコームのための長さ調整機構であって、  
第 1 の移動方向を定める第 1 の摺動ジョイントと、  
第 2 の移動方向を定める第 2 の摺動ジョイントとを含み、  
前記第 1 の移動方向及び前記第 2 の移動方向は、線形経路であり、  
前記第 1 の移動方向及び前記第 2 の移動方向は、前記第 1 の摺動ジョイント及び前記第 2 の摺動ジョイントを係合させる連結リンクが、第 1 の位置と第 2 の位置との間の組み合わせられた長手方向及び旋回運動のために前記第 1 の位置と前記第 2 の位置との間で案内されるよう、非平行に配置される、  
長さ調整機構。

【請求項 2】

第 1 の摺動ジョイントのペア及び第 2 の摺動ジョイントのペアを含み、前記第 1 の摺動ジョイント及び前記第 2 の摺動ジョイントのそれぞれの第 1 の摺動ジョイント及び第 2 の摺動ジョイントは、前記毛切断器具の切断ヘッドの第 1 の側面及び第 2 の側面に配置される、請求項 1 に記載の長さ調整機構。

【請求項 3】

前記連結リンクは、前記調整可能なコームに取り付けられ或いは前記調整可能なコームの一体的に形成される部分であり、前記調整可能なコームは、当該長さ調整機構によって、後退位置と引出位置との間で移動可能であり、第 1 の角度設定が前記後退位置に存在し、第 2 の角度設定が前記引出位置に存在する、請求項 1 に記載の長さ調整機構。

【請求項 4】

当該長さ調整機構は、前記第 1 の摺動ジョイント及び前記第 2 の摺動ジョイントの一方と関連付けられる駆動スライダを含み、該駆動スライダは、前記調整可能なコームの頂端と前記毛切断器具のブレードセットの頂端との間にオフセットを定めるために、前記調整可能なコームを作動させるように構成され、前記第 1 の位置での前記駆動スライダの駆動運動が、前記調整可能なコームの第 1 の結果として得られる調整運動をもたらし、前記第 2 の位置での前記駆動スライダの前記駆動運動は、前記調整可能なコームの第 2 の結果として得られる調整運動をもたらし、前記第 2 の結果として得られる調整運動は、前記第 1 の結果として得られる調整運動よりも大きい、請求項 1 に記載の長さ調整機構。

## 【請求項 5】

前記第 1 の摺動ジョイントは、切断ヘッドハウジングに構成されるガイドスロットを有し、前記連結リンクの第 1 のスライド要素が、前記ガイドスロットで可動に受けられる、請求項 1 に記載の長さ調整機構。

## 【請求項 6】

前記第 2 の摺動ジョイントは、切断ヘッドハウジングに構成されるガイド傾斜路を有し、前記連結リンクの第 2 のスライド要素が、前記ガイド傾斜路で可動に受けられる、請求項 5 に記載の長さ調整機構。

## 【請求項 7】

前記第 1 のスライド要素は、前記第 1 の摺動ジョイントで、前記第 2 のスライド要素が、前記第 1 の位置及び前記第 2 の位置のうちの少なくとも一方において、予荷重された態様において前記ガイド傾斜路と接触するように受けられる、請求項 6 に記載の長さ調整機構。

## 【請求項 8】

前記第 1 のスライド要素は、前記第 1 の摺動ジョイントで可動に受けられ、前記調整可能なコームの角度変位が、前記第 2 のスライド要素を前記ガイド傾斜路と密接に接触させる、前記第 1 のスライド要素に対する荷重を引き起こす、請求項 6 に記載の長さ調整機構。

## 【請求項 9】

毛切断器具用の調整可能なコームのための長さ調整機構であって、  
第 1 の移動方向を定める第 1 の摺動ジョイントと、  
第 2 の移動方向を定める第 2 の摺動ジョイントと、  
前記第 1 の摺動ジョイント及び前記第 2 の摺動ジョイントの一方と関連付けられる駆動スライダと、  
該駆動スライダを作動させるように構成される駆動リンケージと、  
前記コームの作動運動のための操作レバーとを含み、  
前記第 1 の移動方向及び前記第 2 の移動方向は、前記第 1 の摺動ジョイント及び前記第 2 の摺動ジョイントに係合させる連結リンクが、第 1 の位置と第 2 の位置との間の組み合わせられた長手方向及び旋回運動のために前記第 1 の位置と前記第 2 の位置との間で案内されるよう、非平行に配置される、  
長さ調整機構。

## 【請求項 10】

複数の示準位置が切断ヘッドハウジングに形成され、前記操作レバーは、前記調整可能なコームのそれぞれの長さ設定を定めるために、前記示準位置と選択的に係合し且つ係合解除するように構成される、請求項 9 に記載の長さ調整機構。

## 【請求項 11】

前記操作レバーと前記駆動スライダとの間に配置される伝達ロッカ要素が提供され、該伝達ロッカ要素は、切断ヘッドハウジングに枢動可能に配置され、伝達ジョイントが前記伝達ロッカ要素と前記駆動スライダとの間に形成され、前記駆動スライダは、前記伝達ロッカ要素が枢動させられるときに、長手方向に移動させられる、請求項 9 に記載の長さ調整機構。

## 【請求項 12】

前記操作レバーは、前記駆動スライダを作動させるために前記伝達ロッカ要素と連結され、付勢要素が前記操作レバーと前記伝達ロッカ要素との間に設けられ、前記付勢要素は、前記操作レバーを前記切断ヘッドハウジングに対して付勢して休止位置に至らせる、請求項 11 に記載の長さ調整機構。

## 【請求項 13】

前記伝達ロッカ要素は、割出歯部を備え、偏向可能な係合要素が提供され、該偏向可能な係合要素は、前記割出歯部と協働し、それにより、前記伝達ロッカ要素の割出休止位置を定める、請求項 9 に記載の長さ調整機構。

## 【請求項 14】

可動ブレードと、静止ブレードとを含む、ブレードセットを含み、前記可動ブレード及び前記静止ブレードは、それらの間に捕捉される毛を切断するために、互いに対して移動させられるように構成される、毛切断器具のための切断ヘッドアセンブリであって、

当該切断ヘッドアセンブリは、請求項 1 に記載の前記長さ調整機構を含む、切断ヘッドアセンブリ。

## 【請求項 15】

毛を切断するために毛を通じて移動させられる毛切断器具であって、

当該毛切断器具は、ハウジングと、切断ヘッドと、調整可能なコームと、該調整可能なコームを作動させるための長さ調整機構とを含み、該長さ調整機構は、

第 1 の移動方向を定める第 1 の摺動ジョイントと、

第 2 の移動方向を定める第 2 の摺動ジョイントとを含み、

前記第 1 の移動方向及び前記第 2 の移動方向は、線形経路であり、

前記第 1 の移動方向及び前記第 2 の移動方向は、前記第 1 の摺動ジョイント及び前記第 2 の摺動ジョイントに係合させる連結リンクが、第 1 の位置と第 2 の位置との間の組み合わせられた長手方向及び旋回運動のために前記第 1 の位置と前記第 2 の位置との間で案内されるよう、非平行に配置される、

毛切断器具。

## 【請求項 16】

前記調整可能なコームは、予荷重式に切断ヘッドハウジングに取り付けられる、請求項 7 に記載の長さ調整機構。

## 【請求項 17】

前記操作レバーは、旋回レバーとして構成される、請求項 9 に記載の長さ調整機構。

## 【請求項 18】

前記第 1 の移動方向及び前記第 2 の移動方向は、線形経路である、請求項 9 に記載の長さ調整機構。

## 【請求項 19】

前記第 1 の移動方向及び前記第 2 の移動方向は、同じ平面内にある、請求項 9 に記載の長さ調整機構。

## 【請求項 20】

前記第 1 の移動方向及び前記第 2 の移動方向は、同じ平面内にある、請求項 1 に記載の長さ調整機構。